

Ⅲ 課題別普及活動計画

1 地域課題一覧

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
1	○持続する 地域農業の 推進	農産物の安定生産 特別栽培「ゆめぴりか」の高 品質安定生産 ・特栽面積拡大農家戸数： （0→0→2戸） 葉菜類の栽培管理の改善 ・こまつなの栽培管理改善戸 数：（0→1→2戸） 地域の担い手の育成 担い手の水稻栽培技術向上 ・安定生産技術項目達成数 （0→0→5項目） 担い手の野菜栽培技術向上 ・法人従業員の栽培管理の習 熟度：（0→0→80%）	旭川市	旭正共栄 地区 （17戸）	松本係長 渡邊専普 河村専普 早勢普指 竹元普職	R3～R7	23
2	新規作物の 導入による 法人経営の 安定化	もち麦の生産技術の向上 ・規格内収量向上(Kg/10a) （246→246→270） もち麦の高付加価値化による 販路拡大 ・新規販路（0→0→1）	旭川市	永山地区 新規転作 作物導入 農業法人 （1戸）	松本係長 渡邊専普 河村専普 早勢普指 竹元普職	R4	23
3	○生産性の 向上による 集落営農の 発展	営農技術改善による収量・品質 の向上 ・秋まき小麦の収量向上 （10a当たり収量447kg→423 kg→540kg） ・業務用米の施肥改善 （10a当たり収量676kg→732 kg→780kg） ・直播栽培の除草体系の改善 （実施面積0 a → 0 a →100 a） 担い手の栽培技術向上 ・栽培管理記録の作成 （作成人数0人→0人→1 人）	旭川市 東旭川 町	日の出地 域 （7戸）	星 係長 古川専普 太田普職 吉川主査	R3～R7	27

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間	頁
4	秋まき小麦の栽培技術の向上	「ゆめちから」の適正施肥による収量性の向上 ・水田転作地帯収量360kg/10a以上の農家 (11→13→19戸)	旭川市 西神楽	水田転作畑秋まき小麦栽培農家 (31戸)	吉川主査 星 係長	R3～R5	27
5	水稲直播栽培技術の向上	苗立本数確保による収量向上 ・苗立本数170本/m ² 以上 (4→6→9戸) ・出芽時の適切な水管理の取組農家 (5→5→7戸)	旭川市 西神楽	西神楽水稲直播部会 (9戸)	古川専普	R3～R7	27
6	水稲高密度播種栽培技術の定着	高密度播種栽培実施農家の栽培技術向上に向けた支援 ・収量安定化に向けた技術項目8項目中6項目以上達成農家戸数 (0戸→3戸)	鷹栖町 旭川市 (東鷹栖)	高密度播種栽培導入農業者 (5戸)	渡部係長 太田普指	R4～	35
7	○労働生産性の高い中山間地域農業の実現	省力化技術の導入と拡大 ・省力化技術導入導入面積 (0ha→4.5ha→30ha) 転作作物の導入と栽培改善 ・畑作物の安定栽培 基本的栽培技術の実施 実施評価点数80点 (0→0→5戸)	鷹栖町	鷹栖町北斗地区 (13戸)	渡部係長 吉田専主 柴村専普 太田普指	R3～R7	35
8	きゅうり新規栽培農家の技術力向上	新規作付農家の栽培安定に向けた栽培管理指導 ・適正な栽培技術実施率 R3年度就農者(2名) (87→90%) R4年度就農者(2名) (0→80%)	鷹栖町	あったかファーム卒業生 (4戸)	吉田専主 柴村専普	R4～	35

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
9	○新たな栽培技術を活用した持続可能な農業経営の確立	省力化技術導入による労働軽減 ・ 水稻の省力化技術の導入 1 省力化技術導入 (開始44a→現況44a→目標300a) 2 高密度は種栽培の適正な苗素質 (開始0戸→現況0戸→目標1戸) 若手・女性農業者のスキルアップ ・ 水稻栽培・施設野菜栽培の技術習得 1 対象者の習熟度 (開始0%→現況0%→目標60%) 2 ミニトマトのベースグリーン対策実施 (開始0戸→現況0戸→目標2戸)	当麻町	当麻町緑郷1-1区、1-2区 (8戸)	近藤係長 小柴主査 草野主査 桂川専主 野原専普 井村専普 水尾普指 道畑普職 松浦次長	R3~R7	57
10	園芸品目の適正な土壌病害対策技術の定着	園芸品目における各種土壌消毒方法及びまん延防止対策の定着 ・ 発生ほ場に対する適正防除対策実施戸数 (現状0戸→目標4戸)	当麻町	当麻町そ菜研究会 R3土壌病害新発生農家 (5戸)	道畑普職 草野主査 近藤係長	R4	57
11	業務用米の収量向上	業務用米(きらら397)の増収に向けた栽培改善の取組支援 ・ 生育に合わせた肥培管理実施農家 (現状6戸→目標7戸)	比布町	比布町きらら397栽培農家 (7戸)	水尾普指 小柴主査	R3~R4	57
12	いちごの地域に適した栽培体系の再構築 (「びっぷいちご」再振興プロジェクト課題)	比布町における安定生産技術の確立 ・ 「ゆきララ」の適期定植 (現状0戸→目標1戸) 冬いちごの栽培体系確立 ・ 年内出荷割合 (現状0%→3%)	比布町	「ゆきララ」栽培農家(3戸) 実証栽培法人 (1法人)	道畑普職 草野主査 小柴主査 水尾普指	R4~R5	58
13	田畑輪換による輪作体系の検討	水田転作畑の土壌物理性の向上 ・ 水稻無代かき栽培の取組み支援 (現状0→目標1事例) ・ 飼料用とうもろこしの栽培支援 (現状0→目標1事例)	愛別町	実証栽培法人 (2法人)	桂川専主 小柴主査 井村専普 野原専普	R4~R5	58

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
14	酪農経営の 安定化	若手従業員のスキルアップ と作業手順の平準化による 生産性の向上 ・出荷乳量 (R3対比102%)	上川町	酪農法人 (1法人)	野原専普 小柴主査 井村専普	R4	58
15	秋まき小麦 種子の安定 生産	秋まき小麦種子の安定生産 ・全筆合格(19戸→20戸)	上富良野 町	秋まき小 麦種子栽 培農家 (20戸)	寺島専主 光永係長	R4	73
16	○次世代へ つなぐ足腰 の強い農業 技術の基盤 づくり	主要作物の安定的な収量・品 質の確保 ・ほ場管理台帳に基づく栽培 技術の改善 ・栽培改善実践戸数 (0戸→0戸→3戸) ・地力の維持向上 土づくり実践戸数 (0戸→5戸→5戸) 経営管理能力の向上による 経営力の強化 ・経営分析の実施及び改善目 標の設定 (0戸→0戸→6戸)	中富良野 町	旭中 北三地区 (6戸)	光永係長 寺島専主 南 専主 小島専普 今村普指 佐藤普職 狩野支所 長	R3～ R7	73
17	新規就農者 の農業技術 習得 (中富良野町 産業担い手 サポート事 業)	基礎的な農業技術習得 ・プロジェクト活動、アグ リメッセージ発表人数 (0→4名)	中富良野 町	新規就農 者 (4名)	光永係長 寺島専主 南 専主 小島専普 今村普指 佐藤普職	R4	73
18	○迷わない 営農で地域 を拓く (水利施設等 保全高度化 事業畑地帯 総合整備事 業(中山間地 域型))	生産性の高いほ場づくりの 推進 ・土壌実態の把握と地域共有 (土壌実態把握戸数0→6→ 11戸) 営農ビジョンの検証と実践 ・営農シミュレーション実施 と問題点の抽出 (実施戸数0→3→4戸) 家族内技術力平準化 ・研修会などでの習得技術の 家族内共有(習得技術共有 率 (0→33→50%)) 個別農家の技術懸案事項の 解消 ・懸案事項の抽出と解消 (取組件数0→14→14件)	富良野市	老節布北 進 (11戸)	桂川係長 米田専主 木村専主 沼袋普指 佐藤専職 石井普職	R3～ R7	89

課題 番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
19	新規就農予 定者の技術 習得	独立自営就農（5年目）に向 けた技術支援 ・令和4年度の独立自営就農 者数 （0→1組）	富良野市	富良野市 担い手育 成機構の 新規参入 コース研 修生 （2～4年 目） （3組）	沼袋普指 桂川係長	R4	89
20	H28年の台風 被災による 復旧ほ場の 生産性改善 （農地耕作条 件改善事業）	生産性改善対策の実施支援 ・ほ場生産性改善対策実施農 家戸数 （0→1戸）	南富良野 町	国営事業 による客 土実施農 家 （5戸）	木村専主 佐藤専職 桂川係長	R4	89
21	新規参入希 望者の技術 基盤づくり	実践研修における研修生へ の技術習得支援 ・1年目研修課程の修了者数 （0→2人）	占冠村	占冠村新 規参入希 望者（2 人）	米田専主 沼袋普指 桂川係長	R4	89

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
22	若手女性農業者の育成	課題解決能力の向上支援 ・講習内容の活用者数 (5名→8名)	地区一円	たいせつ農業さくら塾生 (10名)	小笠原専主 田中専普 京極普職 佐藤専主 井口普職 辻係長	R4~R5	99
23	トマト生産技術の向上	女性農業者のトマト栽培技術の習得と実践 ・改善技術の実践者数 (2名→4名)	美瑛町	JAびえいとまと生産部会置杵牛地区 (9戸)	田中専普 井口普職 木村係長	R2~R4	99
24	〇びえい農業SDGsへの挑戦	永続的な畑地利用の実践 ・衛星リモートセンシングに基づいた小麦窒素施肥 (衛星リモセン窒素施肥農業者 0戸→6戸→7戸) ・持続的営農活動のための経営課題解決 (個別課題取り組み農業者 0戸→5戸→6戸) 次世代を担う農業者の経営管理能力育成 ・経営解析ツールを用いた経営分析の実施 (ツール使用者 0戸→3戸→4戸)	美瑛町	赤羽地域 (10戸)	木村係長 佐藤専主 堀田専普 田中専普 井口普職	R3~R7	99
25	基盤整備後1,2年目水田における適正施肥の推進	基盤整備後水田の施肥方法の普及 ・適正施肥取組農家戸数 基盤整備後1年目 (0戸→2戸) 基盤整備後2年目 (0戸→1戸)	東神楽町	基盤整備後1年目水田作付農家 (4戸) 基盤整備後2年目水田作付農家 (2戸)	京極普職 藤本普指	R4~R5	111

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間	頁
26	○水稲を核とした農業経営の安定化!	<p>水稲の高品質米生産技術の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質米生産に向けた栽培技術の推進 (技術改善実施戸数 0戸 → 3戸 → 7戸) <p>担い手の育成と交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者の基本技術習得に向けた支援 (水稲栽培研修会一回 当たり参加者数 0人 → 9.7人 → 11人) ・新規雇用労働力の確保と農作業の効率向上 (農作業マニュアル活用した1事業所当たり新規雇用者確保数 0人 → 0人 → 3人) 	東川町	東部地区 (14戸内法人2)	辻係長 小笠原専主 藤本普指 京極普職 鹿野支所長	R3~R7	111
27	地域と連携して取り組む安定的な後継牛の育成	市営大和牧場の運営及び飼養管理の改善による育成牛の発育向上 (育成牛の日増体量向上 前年比5%)	士別市	士別市公共牧場運営協議会 (利用農家11戸、1組織含む)	大日方主査 千川係長	R3~R4	125
			和寒町	士別市公共牧場運営協議会 (利用農家5戸含む)	大日方主査 山口係長		
28	○持続的で収益性の高い温根別農業の確立	<p>畑作物の安定生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豆の安定生産技術の確立 (土壌物理性改善・輪作導入戸数 5 → 5 → 7戸) <p>地域を支える担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手農業者の栽培技術向上 (自主課題取組戸数 0 → 2 → 3戸) 	士別市	士別市温根別町北線地区 (9戸)	千川係長 牧野専主 弓削田専普 仲田専普 伊藤普職 植村支所長	R3~R7	125
29	新規就農希望者の技術習得	就農に向けた技術支援	士別市	士別市農業研修生 (2名)	千川係長 弓削田専普 牧野専主	R3~R5	125

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
30	○土地生産性を維持する持続可能な農業の確立	主要作物の生産性向上 ・小麦の栽培改善項目の実施 戸数 (0戸→3戸→6戸) 地域の将来構想確立 ・作物別収支・労働力の把握 戸数 (0戸→2戸→4戸) ・農地利用の課題共有 検討 会の開催 (0回→1回→2回)	剣淵町	剣淵町東町南地区 (26戸)	山口係長 大日方主査 立浪専普 川村普指 河野普職 植村支所長	R3～R7	137
31	特産野菜の生産性向上	かぼちゃ良食味品種の安定生産 ・作付戸数維持 (26戸→25戸→25戸)	和寒町	かぼちゃ一般個選部会 (75戸)	河野普職 立浪専普	R4～R6	137
32	かぼちゃ(早生品種)の安定生産	製品率の向上 適期防除の実施農業者(1戸→3戸)	名寄市	J A道北なよろかぼちゃ部会役員 (9戸)	鴨下主査 山本普指	R4～R6	147
33	秋まき小麦の安定確収	製品歩留の向上 生育量に合わせた窒素施肥の実施(→10戸)	名寄市	名寄市智恵文地区秋まき小麦生産者 (39戸)	越智主査 久保専普	R4～R6	147
34	酪農経営の生産性の向上	生産乳量の向上 飼養管理改善実施戸数 (0戸→2戸)	名寄市	名寄市乳検組合員 (8戸)	後藤主査	R3～R5	147
35	高密度は種栽培の安定生産	高密度は種栽培の初期生育向上 適正な苗質(草丈、葉数、乾物重)の確保 密苗 (1戸→4戸) 密播中苗 (1戸→1戸)	名寄市	もち米省力化研究会 (5戸)	平山係長 小板専普 吉岡普職	R3～R5	147

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる対 象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	頁
36	○持続可能な経営体の育成による魅力あるゆとり農業の実現	収支計画に基づく農業経営の実践 収支計画(農業所得)の達成 法人(一→一→100%) 個人A(90%→90%→100%) 個人B(83%→83%→100%) 法人経営における作業体系の確立 女性構成員・従業員の休日取得日数 (一→一→100日/年) 土壌改良による土づくりの推進 有機物施用効果の確認 (0→0→3件)	名寄市	名寄市智恵文瑞和地区 (1法人・2戸)	平山係長 小坂専普 久保専普 山本普指 吉岡普職 越智主査 後藤主査 嶋下主査 木村支所長	R3~R7	147
37	○ライフステージに合わせた経営の構築	将来設計に基づいた農業経営の推進 ・軽労働化に向けた飼養管理作業の見直し (0戸→1戸・1法人) ・作物栽培方法の見直し (0戸→3戸) ・地域農業維持に向けた検討 (0→2回)	美深町	川西地区 (7戸1法人)	谷係長 伊藤主査 村上専主 長谷専主 林 専普 尾崎普職 石澤支所長	R3~R7	169
38	特別栽培米の安定生産	特別栽培米の栽培技術の定着 ・適正な栽培技術の実施 (4戸→5戸)	下川町	北はるかもち米生産組合下川部会 (5戸)	林 専普	R3~R4	169
39	地域中堅・若手農業者グループの育成	グループ活動の支援 ・新規参入者の植生改善実施 (1戸→3戸)	中川町	中川町S0IL (7戸)	村上専主 谷係長	R3~R4	169
40	そばの安定生産	そばの栽培技術の定着 ・適正栽培管理技術の実施 (3戸→4戸)	音威子府村	畑作部会員 (5戸)	林 専普 村上専主	R4	169

2 広域推進事項一覧

業務区分	推進事項 (関連事業)	主たる対象市町村	普及対象	担当者	活動期間	頁
担い手	地域農業を支える多様な人材への支援・	管内 一円		田村主査 西川主普 星係長 桂川係長 辻係長 大日方主査 後藤主査 伊藤主査 (地域係全員)	R3 ~R7	
	管内における組織経営体と地域農業支援組織の育成・強化	管内 一円		田村主査 辻主普 星係長 桂川係長 辻係長 大日方主査 後藤主査 伊藤主査 (地域係全員)		
情報・ クリーン・ 有機	技術情報の共有化の推進	管内 一円		竹村主査 辻主普 渡部係長 寺島専主 木村係長 千川係長 鴨下主査 林 専普 (地域係全員)	R3 ~R7	
	環境保全型農業の推進	管内 一円		竹村主査 辻主普 小柴主査 南 専主 小島専普 木村係長 千川係長 鴨下主査 長谷専主 (地域係全員)		
高付加 価値化	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値化に関する情報収集 情報を活かした高付加価値化への支援 	管内 一円		松田主査 西川主普 桂川専主 光永係長 小笠原専主 山口係長 平山係長 村上専主 (地域係全員)	R3 ~R7	

